

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年2月13日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	469010680
法人名	社会福祉法人 中江報徳園
事業所名	グループホーム サンシャインひまわり
所在地	鹿児島県鹿児島市伊敷五丁目4番17号 (電話) 099-295-0793
自己評価作成日	令和2年1月18日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和2年2月3日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

サンシャインひまわりは国道3号線沿いの伊敷脇田バス停のすぐ近くで大変わかりやすい場所に立っています。伊敷ひまわりモールとして、1階は交流サロン、介護支援センターひまわり園、ヘルパーステーション、小規模多機能ホームひとまとわり、2階にグループホーム サンシャインひまわり、3階に住宅型有料老人ホーム 知恩があり建物内での行事などを通して知恩の入居者様や他事業所の職員とも交流が来ています。

- ・平成29年10月1日に開設して、早いもので2年が経ちました。「知恩報徳」～人は恩の海に住む～ 高齢者が明るく、豊かな生活を送れるよう、その恩に感謝し社会に貢献する 職員全員がこの理念を念頭に置いて仕事に臨んでいます 2年目は地域との交流をはかる為にひまわりモール全体での取り組みとして、よかよか体操、地域周辺の清掃、ひまわりカフェ、未来食堂、小学生の社会科見学の受け入れなどを行ってまいりました。今後も積極的に地域交流をはかっていきたいと考えています。
- ・職員も開設より試行錯誤しながら、入居者様の生活を第一に考えて介護支援を行っています。認知症ケアについても法人内研修や外部研修へ参加し知識を深め、ケアの向上を目指しています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は同法人の介護保険事業所「伊敷ひまわりモール」の3階建てビルの2階が当事業所である。同ビル内に、小規模多機能ホーム、住宅型有料老人ホーム、介護支援センター、ヘルパーステーションなどがあり、往き来しての交流や災害時の協力関係も構築している。
- ・協力医療機関とは24時間医療連携体制が整い看護体制も充実し、薬剤師との連携も図り、緊急時の対応などで適切な医療が受けられる。
- ・地域との交流を深めるために「よかよか体操」、「ひまわりカフェ」などを開催したり、移動販売場所としても提供している。地域の方の見学や認知症についての相談などにも対応するなど積極的に交流している。1階の交流サロンを活用して更なる地域との交流を検討している。
- ・管理者は職員育成に力を入れ資格取得に向けた支援を行っている。職員間のコミュニケーションも図り、資質向上に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	法人理念、事業所目標を事務所に掲げ、職員間で声かけ、意識しながら実践につなげている 職員全員が同じ方向を目指していく為に事業所独自の理念を考え中である	法人の理念を基に目標を立て、事務所に掲示し、パンフレットにも記載している。月1回の職員会議等で振り返り、管理者と職員は理念を共有し実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ひまわりモール全体の行事に地域の方々の参加を呼びかけ、幼稚園生の敬老会慰問、よかよか体操などの参加を呼びかけしている	町内会に加入し、「子供110番の家」として登録している。回覧板で情報を得、近隣の清掃活動にも参加している。移動販売場所としての提供もしている。月1回、「認知症カフェ」を実施するなど多方面で地域と交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議や1階サロンにてひまわりカフェを開催する等して認知症ケアについての困りごとなどに対応するようにしている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月ごとに開催。入居者様、ご家族、地域住民（地域代表、民生委員、町内会長）近隣の事業所などに参加していただき、活動状況の報告などを通してご意見を頂きサービスの向上に役立っている	会議は定期的に行っている。利用者の参加もある。事業所の状況やヒヤリハット・事故報告・外部評価結果報告などを行い、委員からも多くの助言や提案が出されている。誤薬等について話し合い、サービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	介護認定の更新、集団指導、介護報酬改定などの説明会などで顔を合わせ、または電話などでアドバイスを頂いたり介護相談員の受け入れをして、意見を頂きサービスの向上に役立っている	市担当者とは、窓口に出向いたり、電話で相談や情報交換を行い協力関係を築いている。運営推進会議を通して協力関係もできている。毎年介護相談員を受け入れ、県グループホーム協議会の会議や市主催の研修会にも積極的に参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	「身体拘束などの適正化指針」やマニュアルがあり、3か月に1回法人内で会議を開催し研修にも参加している 玄関はなく出入り口の施錠はしていない	法人で「身体拘束などの適正化指針」やマニュアルに沿って3ヶ月毎に合同で研修会を実施し参加した職員が事業所で研修報告を行い、職員の共通認識を図っている。言葉による拘束も含め、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。入り口の施錠はしていない。利用者が自由に行動できるよう配慮している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人内での研修に参加し職員間でも声かけし合い、注意し合えるよう努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	法人内での研修に参加し学んでいる 必要時は活用できるよう支援していきたい		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時、管理者にて内容説明を行い納得し同意を得ている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会時などにご家族へ声かけし、意見や要望などをお聞きしている 運営推進会議やエレベーター横に意見箱を設置している</p>	<p>利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞き、対応している。家族からは面会や食事を囲んでの家族交流会、電話等が意見を聞く良い機会となっている。3ヶ月毎に「サンシャインたより」で現状報告をしている。出された要望で新聞の個人購読や個人々の好みの飲み物を準備して楽しみに活かしている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月、分科会などで職員間で意見交換を行い、管理者は随時ヒアリングを行っている</p>	<p>管理者は分科会や職員会議等で職員の意見を聞く機会を設け、反映を図るよう心がけている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスしている。出された意見や提案などをケアの改善に反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は毎月の会議などで実績、勤務状況など把握し職員がやりがいを持てるようコミュニケーションを図ったり環境などの整備に努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年度初めに内部、外部の研修計画を作成した案内も随時行い、研修を受ける機会を作っている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会に加入し研修会に参加している 同業者との交流は出来ていない</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前に本人、家族と面談しこれまでの生活歴や病状、現在の心身の状態を把握し困りごとや意向を伺い、安心して利用できるように考え実行している		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時、家族と面談し施設での生活などについて説明を行い、家族としての意見や要望などを聞いている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族、医療機関、入居前のケアマネジャーなどから情報収集を行い、カンファレンス開催し、検討している		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	簡単な家事や本人の得意な事、出来る事を見極め、その人らしさを持ち自立につながるように支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時近況報告を行い、行事などの御家族参加を呼びかけている。面会時はゆっくり楽しい時間を過ごして頂けるよう居室へ案内している		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時は落ち着いて話ができる環境づくりを心掛けている	友人や知人の訪問の際にはお茶を飲んだりしている。馴染みの美容院への支援、手紙、電話の取次ぎなども行って、継続的關係が途切れないよう働きかけている。家族の協力で外泊や外出・買物・外食・墓参の際にも支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	行事やレクリエーションを通して入居者同士のふれあいや語らいの場を多くし、関係性を深めている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も本人や家族への連絡をとり相談に乗ったり、入所先や入院先への情報提供など行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の要望に近づけるように傾聴し、また表情や行動から読み取り職員間で話し合い検討している	日常の関わりの中で傾聴に努め、言葉や態度などから思いや意向の把握に努めている。困難な場合は申し送りノートで共有し、利用者の視点に立って職員で話し合い、本人本位に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前の面談にて、本人、家族、担当ケアマネジャーなどから聞き取り、職員全員で共有している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の状態に合わせ、無理せず生活できるよう支援している		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族より要望や意向などを聞き、職員、専門職の意見も取り入れながらカンファレンスを行い計画を作成している	本人・家族・必要な関係者の意向を確認し、担当者会議で話し合い個々に応じた介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、様子を観察し記録している。個別の情報は職員全員で共有できるようにして介護計画の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	病院受診や本人の好きな場所への外出など家族と連携しながら都度対応している		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源について把握するよう努めており、本人が持てる能力を十分に発揮し豊かな生活が出来るように支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望される医療を受けられるようにかかりつけ医と連携し受診や訪問診療などに対応している	かかりつけ医は本人や家族の希望を大切にしている。ほとんど訪問診療で対応している。協力医療機関の月1回の往診。他科受診時は連絡票で情報提供をしている。歯科は必要時に訪問診療で対応している。看護師や薬剤師との連携も図り、適切な医療を受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日々の状態を把握し、体調変化に気をつけ早期発見に努め、異常時は看護職員へ報告・相談している</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は入院先の担当者と情報共有し、状態把握や退院に向けての相談などしている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時、重度化や終末期に向けた方針の説明を行っている</p>	<p>入居時、「重度化した場合における対応」の方針を重要事項説明書に記載し、急変時の対応と看取りの指針の説明を行い、同意書をもっている。看取りの事例はないが希望者はいる。職員は、毎年救命救急講習に参加している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時の事故対応マニュアルを掲示し、毎年救命救急の方法などの研修に参加している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に2回、モール全体での防災訓練を行っている 地域との協力体制は築けていないが災害時の避難の受け入れなどの協力をしていきたい</p>	<p>関連施設全体で、消防署立会いのもと年1回と、自主で年1回、火災と地震想定の日夜想定による避難訓練を実施している。スプリンクラーや緊急通報装置等も整備し、定期的に設備等点検も実施している。地域との協力体制については今後検討して行く方向である。災害時の水・米・缶詰・カセットコンロ等の備蓄がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人に合わせた丁寧な対応を全職員で心掛けている	法人で接遇等の勉強会を実施し、職員の資質向上に取り組んでいる。入室や入浴介助・トイレ誘導・おむつ交換などで羞恥心に対する配慮を行っている。日頃から誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の希望に沿えるよう配慮し、自己決定できるように声かけをしている		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人のペースに合わせて休息や散歩などの支援を行っている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人の意向を優先し、おしゃれなどが出来るよう支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	個人の好みなどに合わせた調理や盛り付けを行っている 一緒に食事をし片付けを行っている	栄養士の献立である。関連施設全体で調理するシステムで、担当職員もシフトで配置している。家族交流会ではホームで手作りをしている。月ごとの誕生会でケーキとプレゼント、カラオケで楽しんだり、行事食など食事が楽しみなものになるよう支援している。家族と外食に出かけたりもしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士が作る献立を元に食事を作り提供している		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨きの声掛けを行っている 本人が磨いた後の仕上げを職員で行ったり、歯科医、歯科衛生士とも連携し口腔ケアの指導も受けている		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	早めの声掛けを行い、トイレでの排泄が出来るよう支援している	表情や動作などから、早めに声掛けしてトイレでの排泄や排泄の自立を支援している。布パンツ使用者や夜間のみオムツ対応者や夜間のみポータブルトイレ使用者がいる。支援で尿意があるようになり、自らトイレでの排泄ができるようになった事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日排便チェックを行い、医師の指示で下剤を服用しコントロールを行っている 水分補給や腹部マッサージなども実施しスムーズな排便が出来るように支援している		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回の入浴を実施している 自力で浴槽に入れない入居者様もリフトにて浴槽に入っていただいてる 本人の意向を聞き個々に応じた入浴の支援を行っている	基本的には週3回、体調や希望にそって柔軟に対応している。リフト浴もある。入浴日以外はシャワー浴や足浴を行い清潔保持に努めている。入浴を拒む利用者には時間調整など職員間で連携して、個々に応じた入浴の支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々のペースで体調や気分に合わせて休息している 不安な様子が見られる時は落ち着いた場所ですっきり話を傾聴している		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人別にファイルを作成し、マニュアルに沿って服薬介助している 処方の変更になった時は様子観察を行い、変化があれば記録し、看護師に報告している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	それぞれできる事で役割を担い、生活している 習字、塗り絵など希望に合わせた活動、散歩などで気分転換を図っている		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	花見、コスモス見学、作品展見学などで外出している 今後は家族や地域の方々にも協力をもたえるような関係づくりに努めたい	希望で店へ買い物に出かけたり、移動販売場所に行ったりしている。計画を立てて花見やコスモス見物、ソーメン流し等に出かけている。家族の協力で外泊・外出・外食に出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	物盗られ妄想のある方がいるため、トラブルにつながらないように事務所で預かっている		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	希望時は家族や知人への電話などが出来るよう支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間、居室の整理整頓に努め、季節を感じられる入居者様の作品など飾っている。室温調整にも心掛け快適に過ごせるよう配慮している	共用の空間は広々として、採光や換気・温度・湿度に配慮し清潔である。事務スペースを中心に両ユニットが自由に行き来できエレベーターもあり、整理整頓している。壁には文化祭に出品したひまわりのちぎり絵が展示され談話コーナーにはソファを設置し、居心地よく暮らしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間では気の合う入居者様同士の語らいの場を作るよう心掛けている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族との写真、思い出の品など持ち込んで、当時のエピソードを聞いたりして思いを馳せたりしている	居室はエアコン・ベッド・タンス・洗面台が備え付けである。仏壇・位牌・テレビ・ラジオ・時計・ソファ・家族の写真・ぬいぐるみ・ポータブルトイレなどを持ち込み、安心して過ごせるよう配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室やトイレの場所など分かりやすく表示し、状態が変化した時は職員間で協議し生活しやすい環境づくりを心掛けている		



V アウトカム項目 (西ユニット)

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない